

私感—優しさとはなんだろう

優しさとはなんだろう、
 ①しとやかだ。上品である。
 優美である。②すなおだ。
 おとなしい。③情け深い。
 親切である。と「日本語大
 辞典」に表記されている。

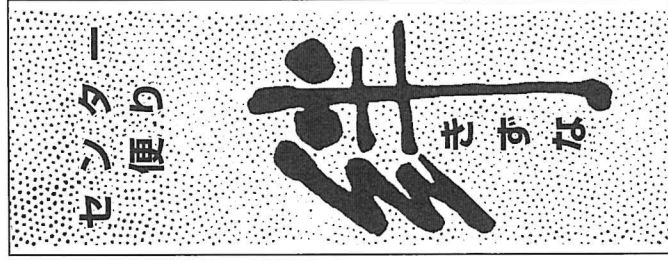
大学生時代、仙台より京
 都で学生生活を過ごしてい
 た友人は、捨て猫や、他の
 人が拾ってきた猫7匹と一
 緒に、三畳半のアパートで
 暮らしていた。雄猫は去勢
 手術を受けて、友人は学生
 食堂でアルバイトをしながら
 手術代を捻出し、食堂の
 余り物を猫達に与えていた。
 当時の学生生活は、学園紛
 争が過ぎ去った1970年
 代はじめの頃である。まだ
 まだ日常は政治状況や地域

闘争や大学闘争等で、騒々
 しく私もデモ等に明け暮れ
 ていた。その友人は、デモ
 に参加しても、デモ隊が出
 発した後、散らかったビラ
 やゴミを拾っていた。今で
 もその当時の友人の様々な
 光景を、ふと思い出すこと
 がある。友人は優しさと思
 の強さを持った人だったよ
 うな気がする。そして私は、
 優しさをその友人から学び、
 価値観の転換を得たよう
 である。その友人は、いつか
 自死するのではないかと、
 心配していたが、今も仙台
 で暮らしている。山陰線（現
 嵯峨野線）で鉄道自死した、
 高野悦子さんの著作「二十
 歳の原点」が出版されたの

もこの頃のことである。

理 事 山 本 恵

さて時代は移り、現在生
 活を営む上で、バリアフリー
 やユニバーサルデザインの
 施策や、また環境問題に対
 しては、SDGsの考え方が
 広まって来ました。それは
 とてもいい政策でありま
 すが、いかに理念が崇高で
 あっても、行動に移すのは、
 それぞれの個人である。他
 人を思いやるところがない
 人が、理念を声高に発言し
 ても「絵に描いた餅」のよ
 うである。優しいと思われ
 ている人が、家庭生活や日
 常生活を過ごす上で、また
 パートナーとの性に対して
 も対等に接しているのだら



第183号

発行所

社会福祉法人

西陣会

HP: <http://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org

〒602-8464

京都市上京区元誓願寺千本東入ル

TEL (075) 451 - 8971

FAX (075) 451 - 5700

発行者:南大路 文 健 弘
編集責任:土 屋 健

郵便振替口座

01030-5-23086

ホームページでも
ご覧になれます

当法人への寄付
 金は、課税控除
 対象となります
 ので、その為の
 受領書が必要な
 方はお申し出下
 さい。

うか。また他人に対して威
 圧的であり、差別的な態度
 を示していないか、あるい
 は地球環境を守るという人
 が、地球を汚染するような
 生活をしていないだろうか
 等、数えあげれば切りがあ
 りません。優しさとはなん
 だろうか、疑問を感じま
 す。

以前、優しさや環境を意
 識した考え方の友人たちは、
 ヒッピーやコミュニケーションの活
 動をはじめました。しかし
 スピリチュアルな世界
 観は、一方で自然回帰
 へと繋がって行き、精
 神世界や国家主義と結
 びつく可能性もあると
 考えられます。

かく言う私は、優し
 さとかけ離れた失格者
 であり、有言不実行そ
 の者です。

優しいところを持っ
 た人たちの「西陣会」
 の集まりで、時には

行き詰り、また不安を感じ
 た時に今一度、元理事長で
 ある深田未来生先生が示さ
 れた「西陣会の理念と活動」
 を読んで考えてみましょう。
 「人間の尊厳」を謳う「西陣
 会」は優しさの原点であり、
 人との学びの場です。どう
 か皆様方の志が、途切れる
 ことなく、日々の活動が繋
 がっていきますように願っ
 ています。そして私も、そ
 のような人間でありたいと、
 ここがけて行きます。

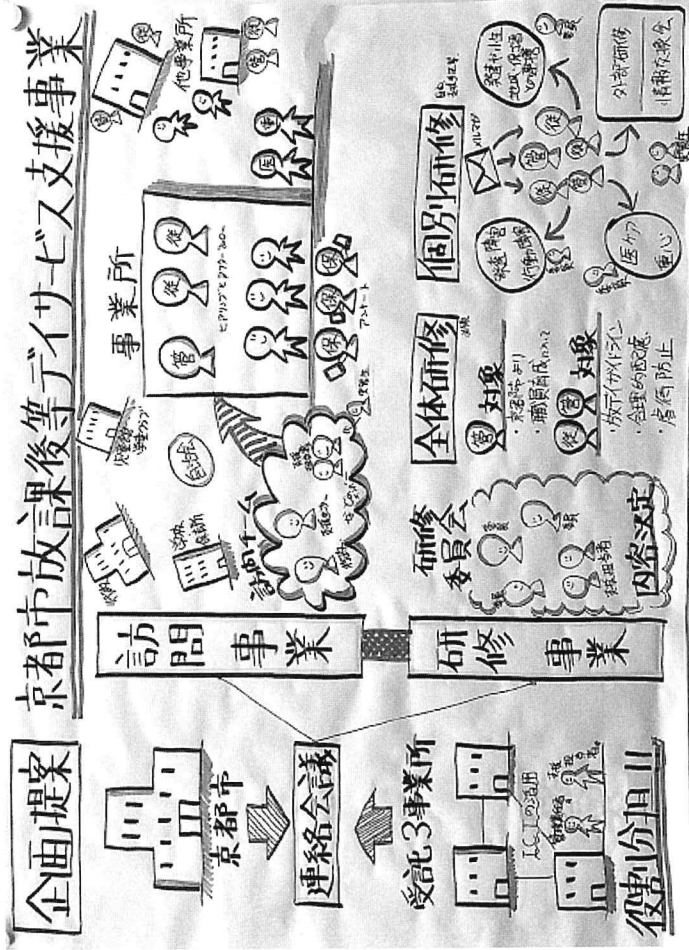


いちについて～～！

京都府放課後等デイサービス支援事業

放課後等デイサービス支援事業 って、どんなの？

副長 小西 秀 和



プロポージャーのプレゼンテーション資料より

西陣会は「梁」担当
西陣会は「連絡会議」の運営やICTを活用した受託3法人の情報共有や連携促進を担当しています。

「一本の梁（はり）」として、関係者が協議等をおこなう「連絡会議」があるという建付けです。

事業の二本柱と一本の梁

当事業は、京都市内放課後等デイサービス事業所への「訪問事業」と、そこで働かれている方を対象とした「研修事業」の二本柱で成り立っています。

また、その二本柱をつな

一言で説明できないから

実は上のイラスト、京都市のプロポージャー形式による事業者選定のプレゼンテーションで使用した資料の一部です。

言葉だけで何かを説明することって、むずかしい。書いたり話したりする方も、読んだり聞いたりする方もけっこう大変です。

だから、グラフィックレコーディングの手法を用いて描いたイラストを、ご紹介させていただきます。

放課後等デイサービス支援事業は、

事業所で働く支援者の方々とともに子どもたちにとってより良い支援を考えていく、京都市のサービスです。



事業紹介カードより
<http://with-children-kyoto.jp>
HPもご覧ください

コロナ禍での取り組み

学校休業期間中、事業所の置かれている状況は過酷なものでした。事業を必要としている子どもや家族のニーズの充足と感染防止対策を両立させるということ

を求められていました。そんななか、京都市内156全事業所（2020年4月現在）に電話による緊急実態調査を行い、ホームページで報告書を公表しています。

kinntone（キントーン）というサイボウズ株式会社から提供するWebデータベース型業務アプリ構築クラウドサービスも活用しながら、これまで課題であった法人間の情報共有やコミュニケーションもスムーズに行えるように取り組んでいます。

求められていること

制度ができてから十年も満たない放課後等デイサービス事業は、おおきな可能性とさまざまな課題があります。コロナ禍においては、「教育」と「福祉」の違いだけではなく、「福祉」のなかでの格差も感じる場面がありました。

児童福祉法第2条にある児童の「最善の利益」とはなにか？を出発点に、事業のあるべき姿をいっしょに考えていく場づくりが必要だと感じています。

西陣会のなかでは

障害のある子どもと親とボランティアによるグループ活動をおこなってきた「ピーポ」、学童クラブ事業における障害のある児童の受け入れを先駆的に行ってきた「西陣児童館」、放デイという制度がなかった時代に誕生した「タイムケア事業ういず」という流れのなかで、当事業を受託した経緯があります。

時にはこれまでの働きを思い出し、これからの展望できればと思います。これからも見守り、ご指導おねがい申し上げます。

地域生活支援二コース

西陣会尾宅サービス係

生活の一部とひとつこと

相 下 賀 代

昨年10月に西陣会に入職させていただきました。スギシタと申します。私は以前ボランティア活動で障がい者支援をしておりました。内容としては、知的障がいがある子供たちが暮らしている施設に遊びに行く、盲学校に歌やお勉強のお手伝いに行く、グループになって一緒にお出かけや旅行をする等々多岐にわたります。ただ、その頃のご利用者さんにとっての私は、良くも悪くも思い出の一部に過ぎなかつたと思います。しかし、西陣会ではご利用者さんの生活全般を支援しています。

私は思い出の一部ではなく、生活の一部となつていると感じます。ご利用者さんが豊かに毎日を生活するために、一人では難しいことをお手伝いする、という感覚です。だからこそ、へ

ルパーの言葉、行動、理解力、等々、その1つ1つがご利用者さんの生活の質に直結しているなど日々感じています。例えばこちらから干渉しすぎるとヘルパーの価値観の押し付けになりますし、逆にお任せしすぎても上手く行かないことが出てきます。言語以外の部分からも意思を汲み取る力等も生活の質に直結していると思います。ご利用者さんの自由意思に基づいて生活できるけれども、ヘルパーが適切な介入をすることによって、生活に支障が出ることもない、そんな支援ができたら良いなと思つています。色々考えるからこそやりがいも難しさも嬉しさも経験できる仕事だと感じています。まだまだ未熟者ですが、思考停止せずご利用者さんに寄り添っていけたらなと考えています。

デイセンターふらこ

実習生を迎えて

大 富 菜 奈 美

8月に華頂短期大学より二名の実習生が来てくれました。2週間という短い期間でしたが、利用者さんと一緒に日々笑顔で過ごしていただきました。

このコロナウイルス感染症が流行している最中での実習では、実習中の体調管理はもちろん、実習前の体調チェック表の提出などこれまでなかつたような配慮がされていました。マスクも常にしている状況であるため、実習生、利用者さんお互いに養情が見えづらく、コミュニケーションの取りづらさもあつたのではないかと思つています。それでも、利用者さんに寄り添い、一緒に活動を楽しむためにと日々学ぼうとされている姿が印象的でした。

コロナウイルス感染症への十分な注意が必要な時期だとしても、実習生の受け入れは大変さを超える価値があり、現場をより良くし

ていけるものになると信じています。日々の支援内容を実習生にお伝えする際に、その支援を行っている理由や支援には必ず根拠があると言葉にすることで、職員が支援を見つめ直せる機会になると思つています。いつも自然に行つていくことでも必ず理由があつて始めたはず。そのことを改めて認識、もしかしたら改善の一步を踏み出すチャンスになるかも。

実習生を受け入れることで今の支援に新たな光が差し込むかと思うと最高

で、実習生が将来どこかで誰かの支援を担う一人になつてくれるかと思うとさらに最高で、様々な配慮が必要なこの時期でも実習生の受け入れをと思わずにはられません。



江文神社社でお参り



釘抜地藏尊で七夕飾りとともに!!



洛北高校同窓会誌を封緘中

デ イ ふ ら ぎ ゾ ー ラ リ ー

シエアハウス小松原の家

日 常 風 景

森 勇 輝

今年度はコロナの影響もあり、入居者の皆さまが例年楽しんでおられた町内会の地藏盆や運動会などが軒並み中止となり、少し寂しい年になりました。そんな中でも平常時と変わらず、シエアハウスは月曜日の夕方から土曜日の朝まで入居者皆様の帰る家として開所しています。自粛ムードの中で、外出が制限されて少しストレスをためておられるような様子もみられていましたが、6月頃から少しずつ通所先などでの外出も再開され「ボウリング行ってきた」「公園でボール蹴りしてきた」「プールに行ってきた」と、帰宅してから嬉しそうに話してくださります。生き生きしてお話しされている姿をみると、楽しんでおられる雰囲気がとても伝わってきます。

シエアハウス小松原の家も2020年10月で、開所から5年目に入りました。入居者の皆様の帰る家として、食事、入浴、睡眠など

色々な時間を一緒に過ごしてきました。お風呂やキッチンなどを共有する共同生活のため、どうしてもトラブルが起きてしまうことがあります。お互いの関わり合いのタイミングがあわなかったり、静かに過ごしたい時に音や声が聞こえてきたり、原因もさまざまあり、その都度、ヘルパーが間に入りお互いの話をお聞きするようになっています。しんどかったこと、思っていたこと、なかなか上手く話せなくても時間をかけて寄り添うことで、落ち着かれていくことが多くあります。「ごめんね」とお互いに過って仲直りして、また一緒に生活していくことができるのも、シエアハウスの良さのひとつだと思います。これからもトラブルを乗り越えながら、入居者の皆様が安心して「小松原の家にいたい！帰りたい！」と言ってくくださるような場所になるように尽力していきたいと思えます。

地域活動支援センターふらっと

「新しい日常」における「夜ふら」の現状

所 長 宮 崎 一 弥

様々な機関紙や広報誌において、コロナ禍における様々な活動や取り組みを紹介しているものを多く見かけます。私たち地域活動支援センターふらっと（以下夜ふら）も例外ではありませんが、出来得る範囲での最大限のことを実践しております。

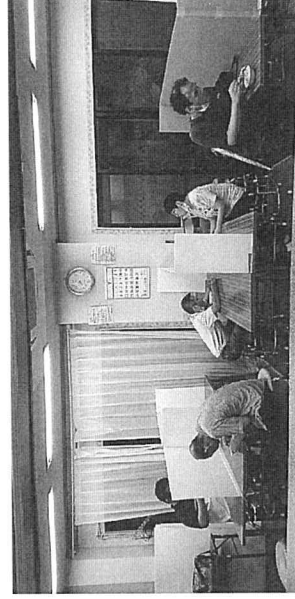


食事中！（シエアハウス）

現在、活動については1人月2回の活動に参加頂いています。つまり、各曜日の利用人数を半分にして少しでも3密を避ける形をとっています。また、活動内容も外出活動については行き先を吟味した上で選んでいます。

カラオケ、ボウリング、居酒屋、レストランでの外食、調理活動など、夜ふら人気活動メニューですが、これらの活動は、コロナ関連のニュースで一度はクローズアップされているものばかりです。夜の街に繰り出すことを楽しみにされているメンバーやボランティアも多くおられますが、以前のように、ワイワイと大人数での参加がまだまだ難しい状況下にあるものと認識しています。

リーマンショック以降、



THE ソーシャルディスタンス（地活ふらっと）

再び「ニューノーマル」という言葉をちよくちよく耳にしますが、withコロナafterコロナの世界において、「新しい日常」は、私たちの夜ふらの活動をどこまで馴染ませてくれるのでしょうか。ほぼ相反する「新しい日常」と夜ふらの活動。誰に言われるでもなく自然とソーシャルディスタンスを取られ座られていますが、夜ふららしさはどこか感じられません。

コロナ前の活動を取り戻せる日が再び戻ってくるのだと私は信じています。

支援センター「きらリンク」

「楽しい」は難しい？

相談員 塩田 真里絵

きらリンクは今年10月1日に開所20周年となりました。当初からの職員は、土屋センター長のみですが、開所当時のお話を聞くことがあります。その際印象に残っていることは、この20年の間に一人暮らしのご利用者が増えたことです。

充分ではないかもしれませんが、福祉サービスが充実してきた現在、きらリンクでは、一人暮らしを始めるにあたって「一人で過ごせるか」が大事なことだと考えています。つまり、楽しめることがあるかどうかです。ただ、実はそんなに簡単なことではないとも感じています。今までと比べものにならないくらい多くの時間を一人で過ごす必要があるからです。

実際に一人暮らしをされているご利用者に教えてもらった過ごし方を思い出

てみます。ゲームをする・テレビ(ドラマ・アニメ)を見る・音楽を聴く・本を読む・ペットと遊ぶ・お昼寝をする・絵を描く・ぬいぐるみで遊ぶ……たくさんありました。みなさん、好きなことをして過ごされています。この好きなことができる時間が増えることが、一人暮らしの良い所なのかもしれません。

中には楽しめることが見つからないと話す人もいます。その場合は一緒に考えるようにしています。同じ時間を過ごすなら、少しでも楽しいものになればと思っています。

ここまで書いておいて、残念なことに私自身が一人暮らしをしたことがありません。良い案が出せるよう日々精進していきたいです。どなたか、お知恵をいただけると幸いです。

支援センター「にしじん」

顔が見えること

河原林 孝 輔



琵琶湖で足つけ(居宅)

この原稿を書いている今も新型コロナウイルスの脅威は終息する様子はない。

新型コロナウイルスの影響であたりまえになったのはマスクの着用だ。マスクの着用と引き換えに失ったものがあるとすれば、それは人の表情ではないだろうか？ 日常生活に必要な物を買いに出かけた先でふと気が付いた。ウイルスという見えない脅威から自分や大切な人を守るために必要なものだから仕方がないが、生活の中から人の表情が見えなくなってしまう。

表情が見えないという点では、業務の中での電話対応も一緒である。「にしじん」で事務員として働かせていただいている私は、直接ご利用者さんと接する機会

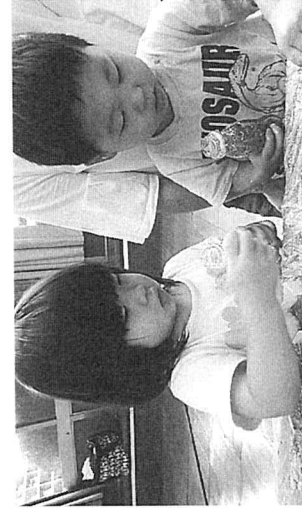
はなく、唯一の接点が電話でのやりとりになる。電話ではこちらの表情が相手には見えない。『顔が見える安心』より優れたものはないが、声だけのやり取りの中で、利用者さんに安心を感じていただけるようにしたい。

また普段の電話対応の中で不備はないだろうか？と日々の業務を振り返るきっかけになった。

マスクが改めて教えてくれた表情が見えない事での印象を大切にして、日々の業務に活かしていきたい。



風鈴に色付け(ういず)



気持いいね☆寒天遊び(ぼこあぼこ)

新型コロナウイルスが終息し、マスクの着用が日々の生活の当たり前にならず、顔が見える生活に戻る事を願っている。

路地震スナーショニュース

西陣児童館

期待

栗村章弘

児童館では、子ども同士や子どもと大人との間で揉め事が毎日起きます。4月より月契約職員として入職した私も、遊戯室における遊び時間の割り振り管理をしている時に、不公平感を感じた子どもから不満を訴えられることがあります。また、子どもから発せられる「アツキー、勝手に決めんといて」の言葉で気づかされることもあります。この件については、遊ぶ当事者である子どもたちの意見を尊重したり納得してもらうためにはどのようにかわれば良かったかなど、その都度私も自己の振り返りをしています。

ところで、揉め事が起ると、子どもは泣いたり、すねてだんまりになったり、

興奮して相手に罵声を浴びせたり、暴力をふるうこともあります。子どもたちの安全を守り、安心して児童館で過ごしてもらうためには、必要に応じて大人が間に入ることも必要だと思っています。揉め事が起きた場合、大人が当事者同士に距離をとらせて別の場所で時間を過ごさせたり、本人たちの言い分をきいたりすることで、子どもたちの気持ちを落ち着かせた上で、冷静に話ができるよう状況を作るとにかかわっています。

しかし、一度落ちついた後で、お互いに話をはじめると再び怒りや悔しさ

などの感情が高まってしまい、落ちついた話し合いができないこともよくあります。それでも、可能な限り、子どもたちには、お互いに気持ちを言語化し冷静に伝え合うことができるようになって欲しいと思っています。また、こうした普段は仲良しの友達や大人との揉め事を通して、自己の言動を振り返り内省したり、相手の気持ちに気づく力を育んでももらいたいと考えています。そして、周りの友達も含めてみんなが嫌な思いをすることなく過ごすにはどうしたらいいかをたくさん身につけて欲しいと思っています。



けん玉対決!?

京都市障害のある中高生のタイムケア事業「ういず」

素直って素敵

田村梨奈

ういずで月契約職員として働き始めて、二年半が過ぎました。大学生活で色々なアルバイトをしましたが、その中で唯一続いているのが、ここ、ういずです。その最大の理由は、ういずの子どもスタッフも素敵な人達ばかりだからだと思います。綺麗事のようなのですが、実際そうなんです。

ういずの子達は、好きなことは好き、嫌いなことは嫌い、嬉しいことは嬉しい、悲しいことは悲しいと素直な気持ちを発信してくれます。ポジティブでもネガティブでも、素直な感情を伝えてくれると、何だか愛しい気持ちになります。大人になるにつれて自分の感情を素直に表現するのが気恥ずかしくなったり億劫になつたりする中で、素直な感情を発信出来る彼らの力はとても素敵で、無敵で

す。だからこそ、私ももつとアンテナを張り、彼らの気持ちをより沢山キャッチし、丁寧に応えていきたいと思っています。

また、スタッフの皆さんの素敵なところは、どんな時も否定しない、ということだと思います。不器用で、周りに迷惑を掛けることも多い私ですが、ういずのスタッフの皆さんは根気強く成長を待ってくださり、また、出来たことを都度褒めてくださったため、自然体でういずの子達と関わり続けることが出来ました。

卒業まで残り約半年となりましたが、今まで以上にういずの子達皆の今と未来へ真摯に寄り添い、少しでも恩返し出来たらと思います。今後ともよろしくお願い致します。

9月

2日 給与制度の設計についての研修へ参加

31日

産業医面談
安全衛生委員会

29日

MYMバーベキュー
育成計画推進委員会

27日

法人内登用試験
新卒採用面接・試験

24日

新任職員研修
(尾上社労士)

23日

西亀屋町地蔵盆
(五十嵐)

6日

きょうと福祉人材育成
承認証制度に関する
取材(小西)

3日

ステップアップ研修
委員会

8月

27日

月曜集会
産業医面談
安全衛生委員会

16日

月曜集会
キャリアパス&人材
育成計画推進委員会

13日

月曜集会

4日

理事会

7月



活動日誌

本部業務・公益事業

9月

26日 出前児童館(うちわ作り)

8月

3日 華頂短期大学
実習生受け入れ

7月

18日 出前児童館(しゃぼんだま)

16日 京都市児童館学童保
育所職員基礎研修
(松本)

5日 華頂大学実習生受け
入れ

西陣児童館

30日

新任職員研修
(南大路理事長)

28日

月曜集会
産業医面談日
安全衛生委員会

24日

労務管理とコンプラ
イアンスについての
研修へ参加(小西)

17日

キャリアパス&人材
育成計画推進委員会

14日

月曜集会

13日

西陣マルシェ↓中止

10日

ステップアップ研修
委員会

3日

新任職員研修
(武田理事)

(小西)

8月

3日 実習生2名受け入れ
(14日まで)

7月

3日 京都市生活介護事業
等連絡協議会1回井
戸端会

9日 京都市生活介護事業
等連絡協議会第1回
定例会(本林)

15日 全体行事…縁日

デイセンターふらっと

30日 支援調整会議

13日 居宅職員会議

8日 上京ねっと
会議

1日 サービス提供責任者
会議

9日 居宅職員会議

26日 支援調整会議

9日 居宅職員会議

29日 支援調整会議

12日 居宅職員会議

7日 京都市生活介護事業
等連絡協議会…京都市
との懇談会(本林)

26日 市政協力委員会合
(本林)

居宅サービス係

9月

24日 障害支援区分審査会

14日 北区こころのキャン
パスネットワーク実
務者会議

4日 京都市生活安全施策
審議会

5日 左京こころのふれあ
いネットワークワー
キング会議

24日 京都市虐待防止窓口
職員向け研修

8月

27日 中部自立支援協議会
医療的ケア専門部会

26日 基幹支援センター会議

20日 相談支援専門員カフエ

11日 北部自立支援協議会
運営会議

7月

24日 歯科検診

きらりんく

20日 日常生活自立支援事業
契約締結審査会

17日 京都市社会福祉協議会
第5回ひきこもり支
援の在り方検討専門
部会

16日 中部自立支援協議会
運営会議

2日 中部自立支援協議会
事務局会議

7日 京都市生活介護事業
等連絡協議会…京都市
との懇談会(本林)

※毎月、施設長会議・主任会
議を実施しています。
その他、諸事業諸活動にお
いても定例活動を行ってお
ります。

9月

28日 こどもの性について
の研修会

16日 上京ネット実務者会議

8日 介護職員初任者研修
講師派遣

31日 京都市児童専門部会

27日 中部自立支援協議会
医療的ケア専門部会

26日 基幹支援センター会議

20日 相談支援専門員カフエ

13日 機能集約会議体

8日 介護職員初任者研修
講師派遣

2日 上京ねっと定例会

20日 日常生活自立支援事業
契約締結審査会

17日 京都市社会福祉協議会
第5回ひきこもり支
援の在り方検討専門
部会

16日 中部自立支援協議会
運営会議

2日 中部自立支援協議会
事務局会議

7月

7日 京都市生活介護事業
等連絡協議会…京都市
との懇談会(本林)

26日 市政協力委員会合
(本林)

26日 京都市生活介護事業
等連絡協議会…京都市
との懇談会(本林)

にしじん

センター往来

◎ 7月4日(土)理事会が開催され定款の変更の要否について議決されました。

◎ 小西事務局次長がきょうと福祉人材育成認証制度に関する取材を受けました。

◎ 8月23日(日)西亀屋町町内会の地藏盆が西亀屋町のデイ分室で行われました。デイセンターふらっと五十嵐主任がお手伝いさせていただきました。

◎ 8月29日(土)MYM企画による児童館・タイムケア事業ういず合同の中高生バーベキュー&水遊びをキャンピング指月林にて行いました。青空の下、水しぶきと歓声があがり、大きな笑顔が広がりました。

◎ 9月16日(水)㈱日本フィランソロピィ協会様に仲介いただき、㈱了オイルミルズ様より



巨大スライカ?わり!!(ういず)

サラダ油8キロを寄贈していただきました。

お祝い

◎ 7月1日(水)居宅サービス係職員の松本華緒莉さんが入籍されました。おめでとうございませう。

◎ 8月5日(水)居宅サービス係職員の高田恵里さんが女の子をご出産されました。おめでとうございませう。

お詫ひ

絆182号にて、京都自転車販売株式会社様のローマ字表記を間違つて記載しておりました。ここに訂正させていただくとともに、心よりお詫ひ申し上げます。

KON'S CYCLE様

職員人事(常勤職員)

就任

統括責任者

土屋 健弘(8月1日付)
(きらりリンクセンター長との兼務)

事務局次長

小西 秀和(8月1日付)
(タイムケア事業ういず副所長・放課後等デイサービス支援事業副所長との兼務)

京都市民福祉センター館長

中山 あい(8月1日付)
(西陣児童館館長・タイムケア事業ういず所長・放課後等デイサービス支援事業所長との兼務)

居宅サービス係所長

赤尾 幸雄(8月1日付)
(西陣会ホームとなり副所長・西陣会ホームきたまち副所長との兼務)

退職

支援センターにしじん

石田奈葉子
(8月31日付)



みんなで虹をかけよう!

編集後記

この季節になると、思い出す詩があります。

夕焼 八木 重吉
ゆう焼けをあび
手をふり
手をふり
胸にはちさい夢をとぼし
手をにぎりあわせてふり
ながら
このゆうやけをあびて
たいよ

幼いころ、遊びつかれて満ち足りた思いで家路にいたことを思い出します。あかね色の夕焼が、みなさんを大きくやさしく包み込んでくれますように。

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて(075)451-5700 迄ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

法人本部
京都市民福祉センター
地域活動支援センター
ふらっと
地域生活支援事業
レスパイトサービス
TEL(075)451-1897
FAX(075)451-5700

西陣児童館
京都市隠書のある中高生の
タイムケア事業ういず
京都市放課後等
デイサービス支援事業
TEL(075)451-1897
FAX(075)451-5700

西陣会居宅サービス係
相談支援事業所 きたまち
TEL(075)427-1400
FAX(075)441-5591

デイセンターふらっと
TEL(075)427-1400
FAX(075)441-5591

西陣会ホームとなり
ショートステイゆう
TEL(075)468-1306
FAX(075)441-5591

西陣会ホーム きたまち
TEL(075)468-1355
FAX(075)468-1355

京都市中部隠書地域生活
支援センターにしじん
TEL(075)427-1400
FAX(075)451-2609

京都市北部隠書地域生活
支援センター きらりリンク
TEL(075)751-0106
FAX(075)751-0107